

インフォシス、欧州の有力な ServiceNow エリートパートナーである GuideVision を買収

買収により Infosys Cobalt (クラウドサービス) のポートフォリオを拡大し、
欧州におけるニアショアデリバリのプレゼンスをさらに強化

ベンガルール (インド) & プラハ (チェコ共和国) 2020 年 9 月 14 日: 次世代のデジタルサービスおよびコンサルティングのグローバルリーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は本日、欧州最大の ServiceNow エリートパートナーである [GuideVision](#) の買収に正式に合意したことを発表しました。GuideVision は、ServiceNow プラットフォーム上で戦略的なアドバイザー、コンサルティング、導入、トレーニングおよびサポートを提供することを専門とする受賞歴のあるエンタープライズサービス管理コンサルティング企業です。

ServiceNow インスタンスのための独自のスマートデータアプリケーションツールである SnowMirror を含む GuideVision のエンドツーエンドサービスは、100 社を超えるエンタープライズが複雑な業務および IT プロセスを簡素化しています。GuideVision のチェコ共和国、ハンガリー、ポーランドにおけるトレーニングアカデミーとニアショア機能とドイツとフィンランドにおけるプレゼンスにより、欧州の顧客向けに当社の ServiceNow 機能を強化します。

ServiceNow は、最も急速に成長しているエンタープライズソフトウェア企業の 1 社であり、組織にとって「不可欠なサービス」とワークフローの標準になりつつあります。当社は、ServiceNow が選ぶ 2019 年および 2020 年の「年間 ServiceNow グローバルサービスプロバイダパートナー」を受賞しています。

インフォシス プレジデント ラビクマールは、次のように述べています。「この買収は、お客様のデジタル優先事項に関連する機能を構築するうえで重要なマイルストーンです。この動きは、成長する ServiceNow エコシステムへの当社のコミットメントを再確認するものです。欧州における GuideVision の拡張性が高く機敏なニアショア機能と、その卓越したデリバリー能力の組み合わせは、グローバル企業が次のステップに進む支援をする当社の取り組みを補完します。インフォシスファミリーに GuideVision とそのリーダーシップチームを歓迎します。」

インフォシス クラウド & インフラストラクチャー担当副社長兼ヘッド ナルシンハラーオマンネバリは、次のように述べています。「GuideVision の買収は、Infosys Cobalt のサービスポートフォリオを強化するための重要な一歩であり、クラウドを活用したエンタープライズ変革の原動力となるサービス、ソリューション、プラットフォームの組み合わせをもたらします。先日



発表した Infosys Cobalt のポートフォリオには、ESM Café のような ServiceNow Industry Cloud ソリューションの大規模なリポジトリがあり、これは GuideVision の業界テンプレートで SnowMirror スイートによって強化されます。」

GuideVision 共同創設者 ノーバートナギー氏は、「当社の極めて高い顧客評価は、優れたコンサルティングと導入サービスを提供するための継続的な努力の結果です。インフォシスに参加することで、お客様のデジタル変革の過程で提供できるサービスのポートフォリオが広がります。インフォシスの世界的な展開は当社の顧客と従業員の双方にとって魅力的な機会です。」と述べています。

GuideVision 共同創設者 パーベルミュラーは、「インフォシスファミリーの一員になれることを嬉しく思います。そして、共有する基本的な価値観が、将来の共通の目標の大きな基盤になると強く信じています。両社の専門知識を組み合わせることで、欧州市場におけるお客様のデジタル変換をさらに推進します。」と付け加えました。

買収は、慣習的な買収完了条件を満たした後、2021 年度第 3 四半期中に完了する見込みです。

ServiceNow、Now Platform、その他は ServiceNow, Inc.の商標です。

Guidevision について

GuideVision は、ServiceNow を活用しエンタープライズのサービス管理を再定義し変革することを目的としたダイナミックで先進的なコンサルティング企業であり、戦略的な専門知識、革新的な技術知識、アジャイル手法の独自の組み合わせを提供します。ミッションは、ServiceNow をお客様とお客様の目標のために機能させることです。

www.guidevision.eu

当社について

インフォシスは、次世代デジタルサービスおよびコンサルティングのグローバルリーダーです。当社は 46 カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。当社は 46 カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。過去 40年間グローバル企業のシステムや業務を管理してきた経験に基づき、お客様のデジタル変革を専門的に誘導します。AI による変更実行の優先順位化、アジャイルデジタルによるビジネス強化、優れたサービス提供により、お客様に高い評価をいただいています。当社は常に学習し、イノベーションエコシステムのデジタルスキル、専門知識、アイデアを活用して継続的な改善を実現しています。

詳しくは、www.infosys.com をご覧になり、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように企業のデジタル改革を支援しているかご確認ください。

セーフハーバー条項

本リリースに記載されている当社の将来的な成長の予測、財務的な見通しおよび新型コロナウイルスの当社従業員、お客様およびステークホルダーに対する影響を回避するため計画に関する記述の一部は、1995年私募証券訴訟改革法

の『セーブハーバー条項』に該当する情報が含まれており、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。これらの記述に関連するリスクや不確定要素には、新型コロナウイルスとその蔓延の抑制を図る政府などの措置の効果、インド、米国、その他の世界各国における不況または景気後退に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済状況の変化、収益の変動、為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるIT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技術をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界や係争中の訴訟や政府の調査の結果に影響を与える経済情勢などが含まれます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2018年度会計年度（2019年3月31日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、追加で書面および口頭により将来の展望を随時発表する場合がありますが、法令で定められている場合を除き当社または代理人により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本オフィス

マーケティング本部長 安藤 03-5545-3257 Email jo_ando@infosys.com